

下部内視鏡検査（大腸カメラ）の説明書

【検査の目的】

肛門から内視鏡を挿入して、大腸内を観察し、大腸のポリープや炎症および癌などの病気を見つけるために行います。もしポリープや癌などが見つければ、検査のため病変の一部を生検（粘膜を採取して組織検査）、またその場でポリープ切除まで行うことも出来ます。これらの病気（ポリープや炎症や腫瘍）等を診断して適切な検査・治療を行うことが目的です。

【検査の方法】

大腸カメラというと、苦痛を伴うという印象が強いですが、最近は大腸カメラ検査装置の改良や検査技術の向上により苦痛はかなり少なくなっています。当クリニックでは検査後の膨満感を減らすために二酸化炭素を使用しています。また、希望により鎮静剤を使用しながら検査も行います（別紙にて詳しく説明します）。

大腸の中をよく観察するためには、便をきれいにし出すことが大切です。前日から消化の良い食事を摂って頂き、当日朝から下剤を飲んで頂きます（別紙にて詳しく説明します）。

【検査に伴う偶発症について】

大腸カメラ検査後に腹部の張りや軽い腹痛などが残ることがありますが、通常は数日以内に消失します。大腸内視鏡検査およびポリープ切除に伴う偶発症として、大腸の出血や穿孔（腸に穴があくこと）の報告があります。また、腸の緊張をとるための鎮痙剤の注射や苦痛を和らげるための鎮静剤や鎮痛剤によるアレルギーの危険性もあります。このような危険をさけるよう細心の注意を払い、万一生じた場合にも当院にて最善の対処をし、連携病院への救急搬送含めて対応します。

【検査の料金について】

保険診療 3割負担の場合、観察のみ約 5000 円、生検を行った場合 10000 円～、ポリープ切除の場合 20000 円～です。



はせがわクリニック

内科 + 消化器内科 + 皮膚科

TEL 052-800-3711